

## 2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 宇城市立不知火中学校 ] 担当教諭名 [ 松山 勇次 ] ( 1年1組 33名 )

交流相手国 [ イギリス・ウェールズ ]

海外学校名 [ Bryn Hafren Comprehensive School ] 担当教諭名 [ Gemma Price / Tracy Evans ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の 時間	発見！地域の宝	14
	英語	My Project 自己紹介・地域・学校紹介	3

### ■作品について教えてください。

題 (テーマ)	地域の宝
絵に込めたメッセージ	不知火町のうまいもの、不思議なもの、すばらしい人を紹介し、不知火町のことを世界に人々に知ってもらおうという気持ちを込めて絵を描きました。
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <span>イギリスの生徒が描いた絵</span> <span>不知火中学校の生徒が描いた絵</span> </div> 	

### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・不知火町の良さのより深く知ることができた。</li> <li>・調べたことを元に、絵を描いてイギリスに発信するという目標があったので、生徒の調べ学習への意欲がさらに高まり、できるだけ相手国の生徒達に分かるように絵を描こうと工夫をしようとした。</li> <li>・絵を描かない生徒も、英語による不知火町や自分たちの学校について紹介文を書いて、イギリスの生徒達に伝えようと努力していた。</li> <li>・国際交流は直接会話をしなくてもいろいろな方法でできることを生徒達は知ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の関わり方が異なり、絵を描いた生徒、それ以外の生徒の意識に差が見られた。</li> </ul>

### ■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
文化発表会での展示や発表	文化発表会后、壁画や発表等に関して「頑張っていますね」などのお褒めの言葉をいただいた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	6月	地域の宝についてフィールドワークを行い、調べたことをまとめ、文化発表会で発表すると共に、イギリスの学校にも発信していくことを伝える。	実際にイギリスの学生との交流や共同作業があると知り、期待と不安が見られた。	総合的な学習の時間
情報収集	7月	班ごとにさらに細かいテーマを設定し、図書館、市役所、史跡等を実際訪れインタビューや調べ学習をすすめる。	班ごとにまとめて、役割分担し、意欲的に活動していた。まとめる段階では、初めてプレゼンテーションソフトを使い、まとめる生徒もいた。	総合的な学習の時間
テーマ検討	9月	お互いの地域についての壁画にすることをフォーラムで相手校と確認する。各班が地域について調べたことを各班の代表がそれぞれひとつの絵に表す。クラスの代表が壁画のおおまかな下絵を作成し、下絵の中に6班それぞれのモチーフを組み込む。途中相手校にも画像を送り、確認しながら進める。	最初ほどの様に絵にしていくな戸惑っていた。教師のアドバイスを受け、各班の代表が、班ごとに調べた内容を6つの四角の枠に描くことに決定したら、制作の見通しが立ち、意欲的に作業に取り組み始めた。	総合的な学習の時間
制作	10月	各班の代表が7名集まり、リーダーの指示に従って、下絵から色つけまでを協力して行う。途中相手校にも画像を送り、確認しながら進める。	お互いの意見を出し合い、構図や色使いなど、それぞれの作品をどのように壁画の中で生かすのか話し合いを進めて、いきいきと活動に取り組んでいた。	総合的な学習の時間
鑑賞1	10月	班ごとのプレゼンテーションでの発表、班ごとのワープロソフトでまとめた新聞の展示、壁画の展示を行った。	他学年だけでなく、隣のクラスや他の班の発表や展示から多くの新しい発見があり、地域の良さの再発見につながった。	文化発表会
鑑賞2	3月	イギリスから返送されてきたアートマイルの絵を見て感想や、交流を通して学んだことなどをプリントにまとめた。	生徒によって意識の差があったが、イギリスの生徒の描いた絵を見直すことで、今回の交流について考える機会にできた。	学活

■学習目標(つきたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:あまり重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つきたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	小学校時代にも同様の地域調べを行っているが、中学生になって調べ直すことで、地域理解が更に深まった。
異文化の理解	B	3	送られてきた絵を見て、イギリスのことについて知ることができた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	3	ビデオレター作りでは英語での自己紹介をしたり、簡単な英作文で学校・地域紹介などの取り組みを生徒達は頑張っていた。しかし、どれだけ力がついたかについては検証できていない。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	4	フィールドワークやワープロソフト、パワーポイント、インターネット等に普段使用した事のない生徒も含めた全員がそれらを活用し、資料としてまとめたり、発表をすることができた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	3	絵を描く、そのための資料を集める、まとめるなどの作業を通して協力して活動することの大切さを生徒は学びました。
協働する力 (役割分担・協力)	B	5	同上
学習を追究する意欲	B	4	伝える相手が明確なので、より詳しく調べよう、さらに良いものにまとめようという意欲が感じられた
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	B	5	相手の国の生徒さん達に一目見て分かるようにアイデアを出しながら絵に描き表すことができました。
作品を鑑賞する力	B	4	相手校の絵を見て、感想を書いたり、新たな疑問点を見つけ出すことができた。

